

【意見交換会の概要】

参加者を8班に分け、各班で「介護ロボットを導入したらどうなるか？」をシュミレーションし、「どのように使うか」「どのような効果が得られるか」について検討しました。

以下は、各班から出た主な意見です。

(移乗、移動支援に係る機器)

- ・ 人手が少ない時に使用する→職員の腰痛予防につながる
- ・ 立位歩行が不安定な方の散歩に使用する→歩く機会の提供が増え筋力アップにつながる／付き添い時の負担が軽減される

(排せつ支援に係る機器)

- ・ 新規利用者の排せつ周期把握に使用する→排せつ誘導のタイミングがつかみ易くなる

(見守り支援に係る機器)

- ・ 夜間見守りの代わりに使用する→夜間帯の巡視の回数を減らし、他の業務を行える

(入浴支援に係る機器)

- ・ 座位を保持したままの入浴に使用する→利用者の「入浴したい」を叶えられる。職員の腰痛防止になる

(介護業務支援に係る機器)

- ・ 日々の排せつ状況を把握するために使用する→健康状態の確認が行なえ、食事や服薬に係る連携がとれる

なお、導入時のメリットだけではなく、機器を使用することで利用者が不安がる恐れがある（入浴支援）、小さな機器は紛失しないよう気を付ける必要がある（排せつ支援）、導入に係るコストや施設自体の制約などがある（全般）、機器の導入ありきではなく業務の方法を見直すことでも改善できることがある（入浴支援）といった意見も出されました。